

「遊びや環境を通した学び」の普及に向けて

■ **実施団体**：公益社団法人シャンティ国際ボランティア会

■ **対象国・地域**：
カンボジア バットンバン州

■ **現地カウンターパート**
教育・青少年・スポーツ省



■ **協力内容**：

- ・「遊びや環境を通した学び」に関する現職教員向けの指導ガイドブック等の開発・導入
- ・「遊びや環境を通した学び」を普及する人材の能力強化
- ・トレーナーから現職教員に対する研修の実施

■ **団体のこれまでの取り組み**：

公益社団法人シャンティ国際ボランティア会（シャンティ）は、1981年に「曹洞宗ボランティア会」として、タイの難民キャンプで教育・文化支援活動を行うために設立され、人びとの考える力、創造する力を支え、共に社会や生活の問題を解決していくことを目指し、「共に学び、共に生きる」平和（シャンティ）な社会の実現のために、カンボジアを含むアジアの7つの地域で子どもたちへの教育・支援を行っている。

■ **事業実施の背景**：

乳幼児期のケアと教育はその後の人生に重大な影響を及ぼす極めて重要な要素であるにも関わらず、カンボジアの幼児教育は課題を多く抱えている。例えば、カンボジア政府は2018年に就学前教育において「遊びを通した学習」を取り入れる方針を打出したが、モデルケースや実戦経験の不足により、方針やコンセプトが現職教員に上手く浸透せず、未だに教員が一方向的に教え込む教室型の授業が一般的に行われている。

カンボジア国の課題と成果

課題

カリキュラムの基本原則にある「遊びを通した学び」のコンセプトが上手く浸透していなかった。

成果①

シャンティがカンボジアの中央・地方の関係者とともに作成した教員用の指導書であるガイドブックは、2023年12月にカンボジア教育・青少年・スポーツ省により承認され、カンボジア全土の幼稚園等に配布された。

成果②

日本の知見や指導技術をカンボジアの教育現場に調和するように移転した結果、バットンバン州のパイロット校では多くの幼稚園で遊びが取り入れられるようになった。

事業の波及効果



「遊びを通した学び」がカンボジアの幼稚園の基準に定められた！

2023年12月、カンボジア教育省が発表した幼稚園を五段階評価するための「モデル幼稚園スタンダード」において、「遊びを通した学び」による活動を実践しているクラス数の割合や、カリキュラムに沿って子どもたちに十分な遊びを提供できる教材があるクラスの割合、幼稚園で図書館や図書コーナーが設置・定期的に活用されていることなどが主要指標として採用された。